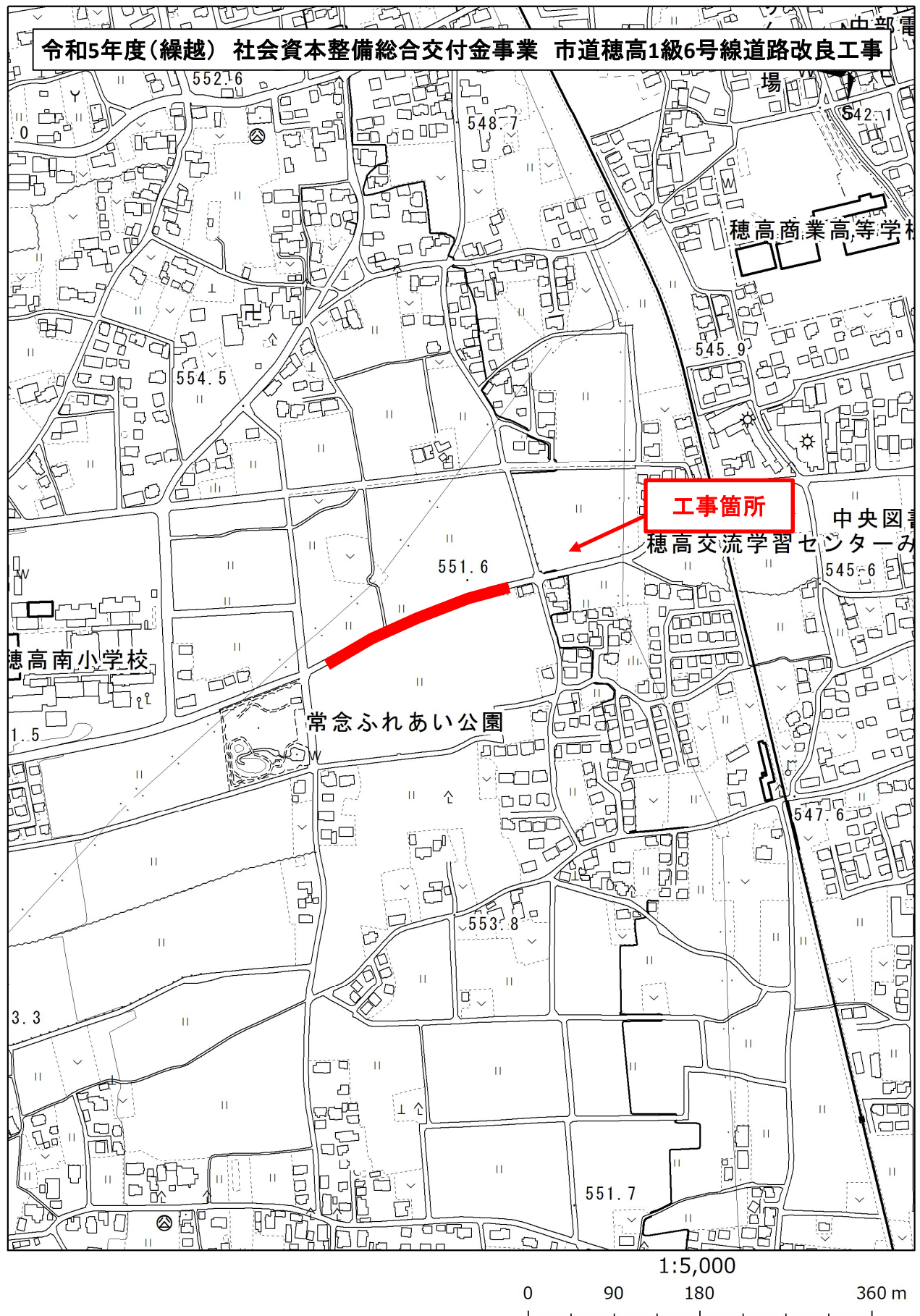


位置図



特記仕様書

工事名：令和5年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業 市道穂高1級6号線道路改良工事
箇所名：安曇野市 穂高

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

2 工期関係

工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日の翌日）から起算して203日間とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30 日間
② 後片付け期間	5 日間
③ 雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数 実働日数×係数	0.77

著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 残土・廃棄物関係

(1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

(2) 建設発生土 ※受入場所と計上している運搬距離を記載すること。 【指定】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
共和興業(株)	1900 円/m ³	3.0 km	安曇野市穂高牧 766-1

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）※計上している廃材について記載すること。 【参考】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等				
アスファルト塊		再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離	3.0	km
			数 量	334	①	・	m ³
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離	3.0	km
			数 量	0.2	①	・	m ³
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³
	二次 製品	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³
建設発生木材			処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）※計上している廃材について記載すること。 【参考】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
木くず (抜根・伐採材)		再利用	処理工場名		距離	km
			数 量	t	・	m ³
汚 泥			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・	m ³
その他（金属クズ他）			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・	m ³

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うこと。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名 住 所		許可番号		
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名 住 所		許可番号		
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議 ※下表を標準とし、工事ごとの状況に応じて加除修正すること。

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	上記と同様	上記と同様
NTT	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様

関係官公庁	本工事に係るこ と	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

(2) 個別事項 ※以下の記載した項目は参考である。工事現場ごとの特性を考慮し、個別事案を追記すること。

- 一 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 二 本工事は原則として片側交互通行で施工すること。作業時は誘導員を配置するとともに、誘導員の安全管理についても留意すること。また、通行車両、歩行者に細心の注意を払い施工にあたること。
- 三 本工事は品質管理試験として、路盤入替えに係る現場 CBR 試験及を計上している。試験場所については、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 四 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 五 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。
 - (一) 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙－５の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１内容ずつ（いずれか１費目のみ２内容）、合計５つの内容を選択すること。
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
 - (二) (一) で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。
 - (三) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
 - (四) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。
 - (五) 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。
- 六 本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。
 - (一) 境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。
 - (二) 境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- 七 本工事は発注者指定（受注者希望）による電子納品の対象工事である。実施（の希望）にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙－２『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。
 - (一) 成果品の作成にあたっては長野県『電子納品に係る実施要領』に基づくものとする。
 - (二) 受注者の事情等により、電子納品が困難である場合は、監督員との協議により紙納品とすることができる。
 - (三) 電子納品における書類の作成費用等は共通仮設費率に含まれている。
- 八 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。
 - (一) 利用にあたっては、長野県『情報共有システム実施要領』によるものとする。
 - (二) 利用するシステムは、『長野県情報共有システム機能仕様書』を満たすものから、受注者が選択し、事前に監督員の承認を得るものとする。

(三) 実施内容は以下の項目とし、受発注者間で確認し決定する。

- ・受発注者間の工事打合せ簿等の受け渡し（書類によっては、紙決裁で行う場合を認める）
- ・現場状況の共有
- ・確認・立会依頼
- ・その他 システムで利用可能な項目

(四) システムの利用料及び登録料は、共通仮設費率（技術管理費）に含まれている。

九 本工事は発注者指定（施工者希望）型週休２日工事の対象工事である。（週休２日の実施を希望する場合は、）「安曇野市週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

（参考）「安曇野市週休２日工事実施要領」

十 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和６年４月１日適用版

数 量 集 計 表(令和5年度交付金分)

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単位	設計数量	摘 要
施工全延長 L=204.0m						
道路土工	掘削	土砂 オープンカット	238.5	m3	240	
	土砂等運搬		238.5	m3	240	
	残土処分		286.2	m3	290	$238.5 \times 1.2 = 286.2$
舗装工						
車道舗装工	不陸整生		209.1	m2	209	
	置換工		209.1	m2	210	
	下層路盤工		209.1	m2	209	
	上層路盤工		209.1	m2	209	
	表層工		236.2	m2	236	
構造物取壊し工	舗装版切断		7.4	m	7	
	舗装版破碎		236.2	m2	240	
	殻運搬	As殻	23.6	m3	24	$236.2 \times 0.1 = 23.6$
	殻処分	As殻	54.3	t	54	$23.6 \times 2.3 = 54.3$
	仮設柵撤去		0.1	m3	0.1	
	殻運搬	無筋Co殻	0.1	m3	0.1	
	殻処分	無筋Co殻	0.2	t	0.2	$0.1 \times 2.35 = 0.23$
道路附属物工						
道路附属物工	地先境界ブロック	A種	2.4	m	2	
	プレキャスト集水柵		1.0	基	1	

数 量 集 計 表(令和5年度交付金分)

[illegible]

数量集計表(令和6年度交付金分)

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単位	設計数量	摘 要
施工全延長 L=204.0m						
道路土工	掘削	土砂 オープンカット	1,248.2	m3	1,200	
	土砂等運搬		1,248.2	m3	1,250	
	残土処分		1,497.8	m3	1,500	1248.2×1.2=1497.8
舗装工						
車道舗装工	不陸整生		1,076.3	m2	1,080	
	置換工		1,131.5	m2	1,100	
	下層路盤工		1,131.5	m2	1,130	
	上層路盤工		1,131.5	m2	1,130	
構造物取壊し工	表層工		1,219.3	m2	1,220	
	舗装版切断		7.0	m	7	
	舗装版破碎		1,219.3	m2	1,220	
	殻運搬	As殻	121.9	m3	122	1219.3×0.1=121.9
	殻処分	As殻	280.4	t	280	121.9×2.3=280.4
区画線工						
区画線工	ペイント式区画線(外側線・中央線)	実線15cm 材料費	578.0	m	580	
	ペイント式区画線(外側線・中央線)	実線15cm 機械・労務費	887.0	m	890	
	溶解式区画線(ダイヤモンド)	矢印・記号・文字15cm換算 材料費	33.0	m	33	16.5×2箇所=33.0
	溶解式区画線(ダイヤモンド)	矢印・記号・文字15cm換算 機械・労務費	50.0	m	50	
	区画線消去	削り取り式 燃料費	13.6	m	14	

数 量 集 計 表(令和6年度交付金分)

[illegible]

土 量 計 算 書(令和5年度交付金分)

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘 削	床 掘	盛 立	埋 戻	掘 削	床 掘	盛 立	埋 戻		掘 削	床 掘	盛 立	埋 戻
BC.4 646.53	9.7				—				—	—			
NO.32+12.6 652.60	9.7				9.70				6.07	58.9			
NO.32+12.6 652.60	6.3				—				—	—			
NO.33 660.00	6.3				6.30				7.40	46.6			
NO.34 680.00	7.0				6.65				20.00	133.0			
合 計									33.47	238.5			

土 量 計 算 書(令和6年度交付金分)

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘 削	床 掘	盛 立	埋 戻	掘 削	床 掘	盛 立	埋 戻		掘 削	床 掘	盛 立	埋 戻
NO.23+16.00 476.00	7.2				—					—			
NO.24+15.00 495.00	7.0				7.10				19.00	134.9			
NO.25+10.00 510.00	7.1				7.05				15.00	105.8			
SP.3 528.01	7.2				7.15				18.01	128.8			
NO.27 540.00	6.8				7.00				11.99	83.9			
NO.27+12.00 552.00	6.8				6.80				12.00	81.6			
NO.28 560.00	6.8				6.80				8.00	54.4			
NO.29 580.00	7.1				6.95				20.00	139.0			
NO.30 600.00	7.0				7.05				20.00	141.0			
EC.3 605.46	7.0				7.00				5.46	38.2			
NO.31 620.00	7.0				7.00				14.54	101.8			
NO.31+14.95 634.95	9.8				8.40				14.95	125.6			
NO.32 640.00	9.8				9.80				5.05	49.5			
BC.4 646.53	9.7				9.75				6.53	63.7			
合 計									170.53	1,248.2			

舗装工面積計算書(令和5年度交付金分)

測 点	不陸整生	路 盤	表 層	不陸整生平均	路 盤 平 均	表 層 平 均	距 離	不陸整生面積	路 盤 面積	表 層 面積	摘 要
BC.4 646.53	8.30	8.30	9.20	—	—	—	—	—	—	—	
NO.32+12.6 652.60	8.30	8.30	9.20	8.30	8.30	9.20	6.07	50.4	50.4	55.8	
NO.32+12.6 652.60	5.50	5.50	6.40	—	—	—	—	—	—	—	
NO.33 660.00	5.50	5.50	6.40	5.50	5.50	6.40	7.40	40.7	40.7	47.4	
NO.34 680.00	6.30	6.30	6.90	5.90	5.90	6.65	20.00	118.0	118.0	133.0	
小 計							33.47	209.1	209.1	236.2	表層面積＝舗装取壊し面積

舗装工面積計算書(令和6年度交付金分)

測 点	不陸整生	路 盤	表 層	不陸整生平均	路 盤 平 均	表 層 平 均	距 離	不陸整生 面積	路 盤 面積	表 層 面積	摘 要
NO.23+16.00 476.00	6.10	6.30	7.00	—	—	—	—	—	—	—	
NO.24+15.00 495.00	6.10	6.50	7.00	6.10	6.40	7.00	19.00	115.9	121.6	133.0	
NO.25+10.00 510.00	6.10	6.50	7.00	6.10	6.50	7.00	15.00	91.5	97.5	105.0	
SP.3 528.01	6.10	6.50	7.00	6.10	6.50	7.00	18.01	109.9	117.1	126.1	
NO.27 540.00	6.10	6.50	7.00	6.10	6.50	7.00	11.99	73.1	77.9	83.9	
NO.27+12.00 552.00	6.10	6.50	7.00	6.10	6.50	7.00	12.00	73.2	78.0	84.0	
NO.28 560.00	6.10	6.50	7.00	6.10	6.50	7.00	8.00	48.8	52.0	56.0	
NO.29 580.00	6.20	6.50	7.00	6.15	6.50	7.00	20.00	123.0	130.0	140.0	
NO.30 600.00	6.20	6.50	7.00	6.20	6.50	7.00	20.00	124.0	130.0	140.0	
EC.3 605.46	6.20	6.50	7.00	6.20	6.50	7.00	5.46	33.9	35.5	38.2	
NO.31 620.00	6.20	6.50	7.00	6.20	6.50	7.00	14.54	90.1	94.5	101.8	
NO.31+14.95 634.95	6.20	6.50	7.00	6.20	6.50	7.00	14.95	92.7	97.2	104.7	
NO.31+14.95 634.95	8.80	8.80	9.20	—	—	—	—	—	—	—	
NO.32 640.00	8.80	8.80	9.20	8.80	8.80	9.20	5.05	44.4	44.4	46.5	
BC.4 646.53	8.30	8.30	9.20	8.55	8.55	9.20	6.53	55.8	55.8	60.1	
小 計							170.53	1,076.3	1,131.5	1,219.3	表層面積＝舗装取壊し面積

区画線工数量計算書

[illegible]

構造物撤去工数量計算書

[illegible]

資材単価等について

令和5年度(繰越) 社会資本整備総合交付金事業 市道穂高1級6号線道路改良に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和6年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

[illegible]

平面図

SCALE S=1:500 (A1) 1:1,000 (A3)

安曇野市 穂高

実施図

令和5年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業
市道穂高1級6号線道路改良工事

番号	1 / 7	横断面図(1)	縮尺	図示
----	-------	---------	----	----

市道穂高1級6号線

安曇野市 穂高

設計会社	大成測量設計㈱
測量会社	大成測量設計㈱
調査会社	

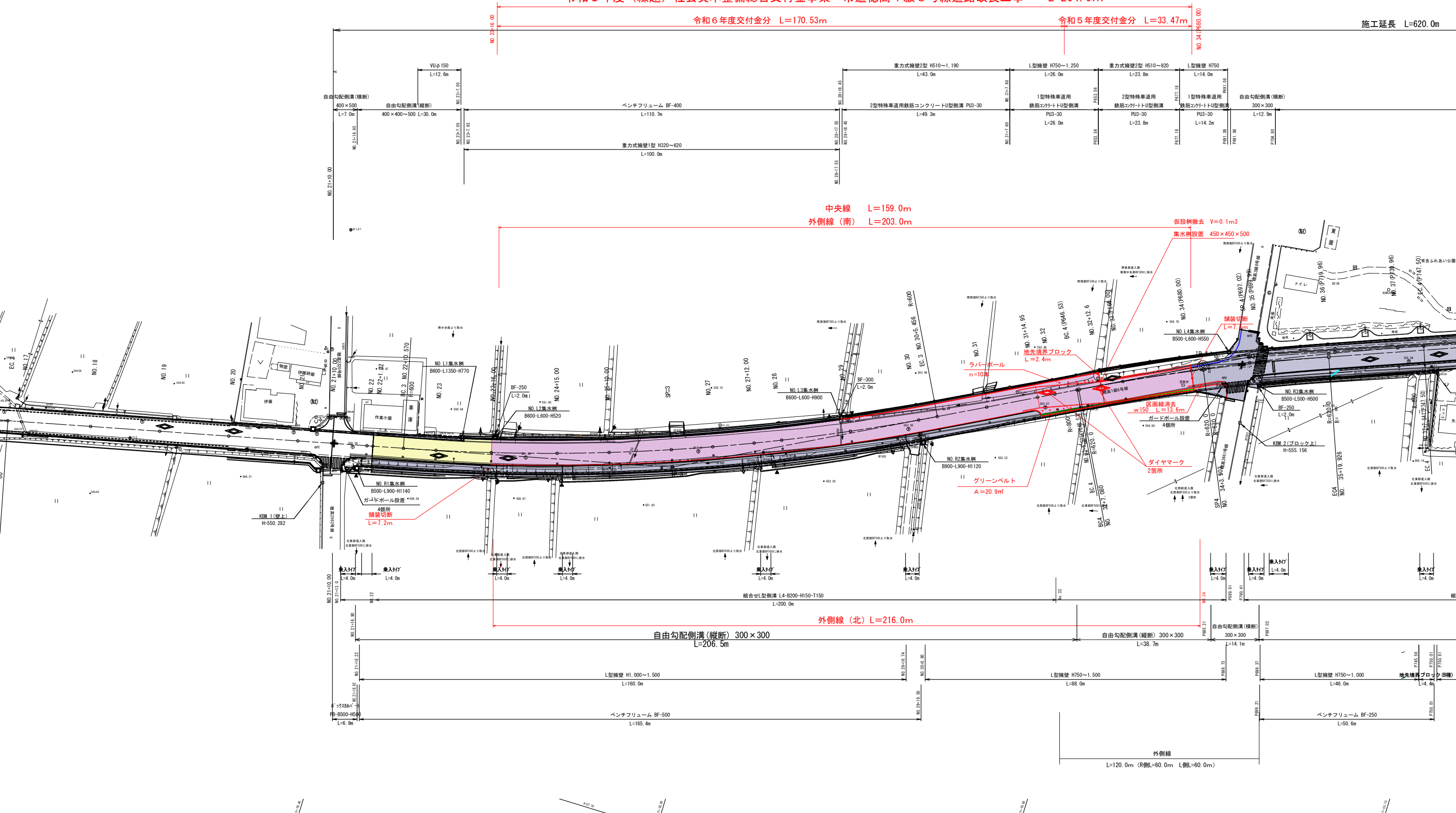
安曇野市役所

令和5年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業 市道穂高1級6号線道路改良工事 L=204.0m

令和6年度交付金分 L=170.53m

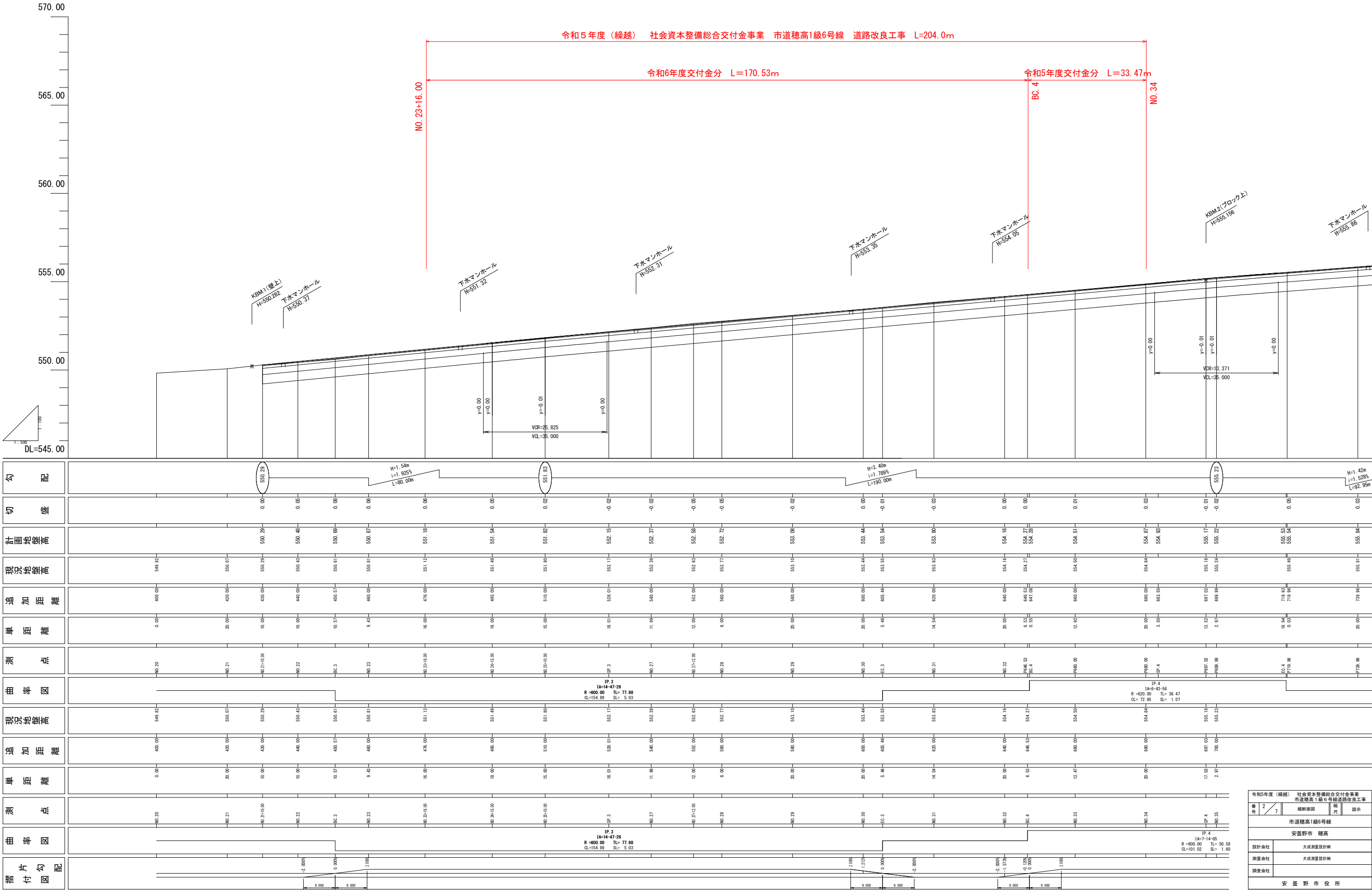
令和5年度交付金分 L=33.47m

施工延長 L=620.0m



縦断面図

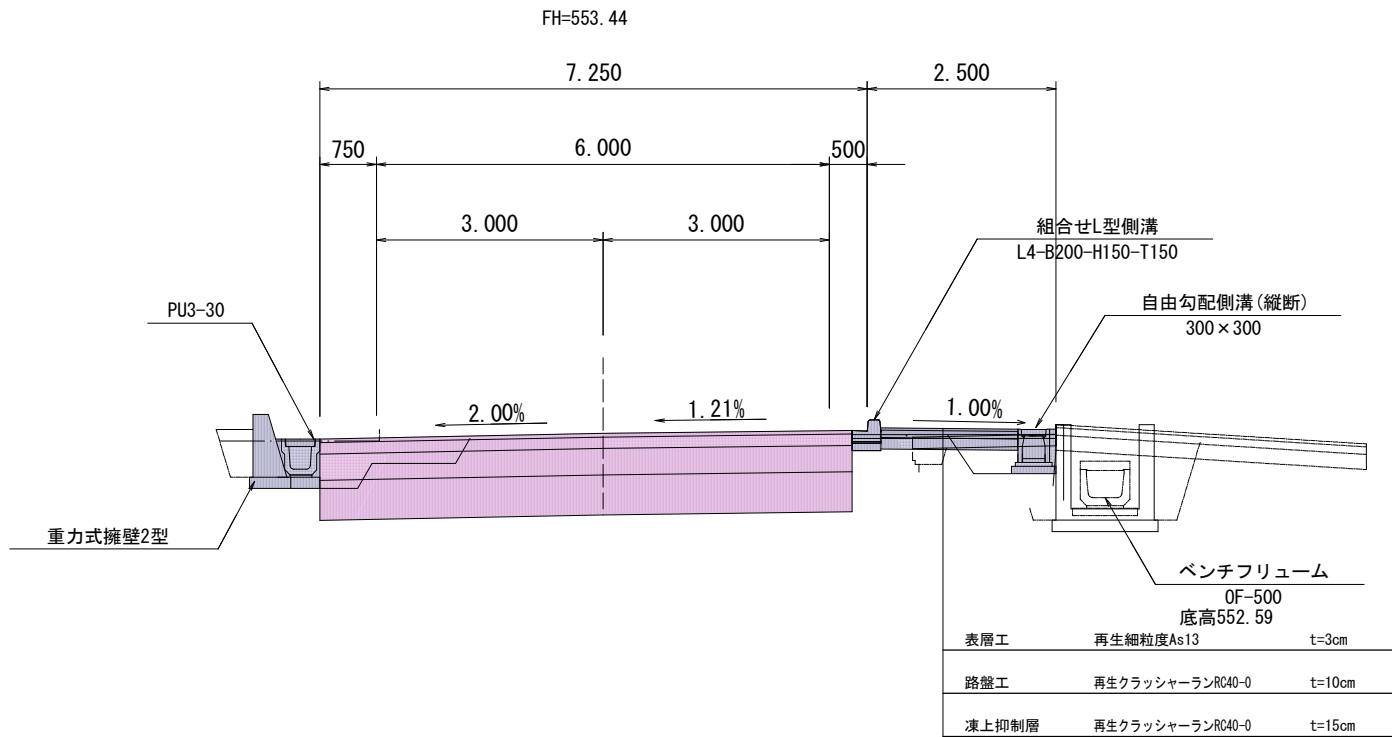
SCALE H=1:500 (A1) 1:1,000 (A3)
V=1:100 (A1) 1: 200 (A3)



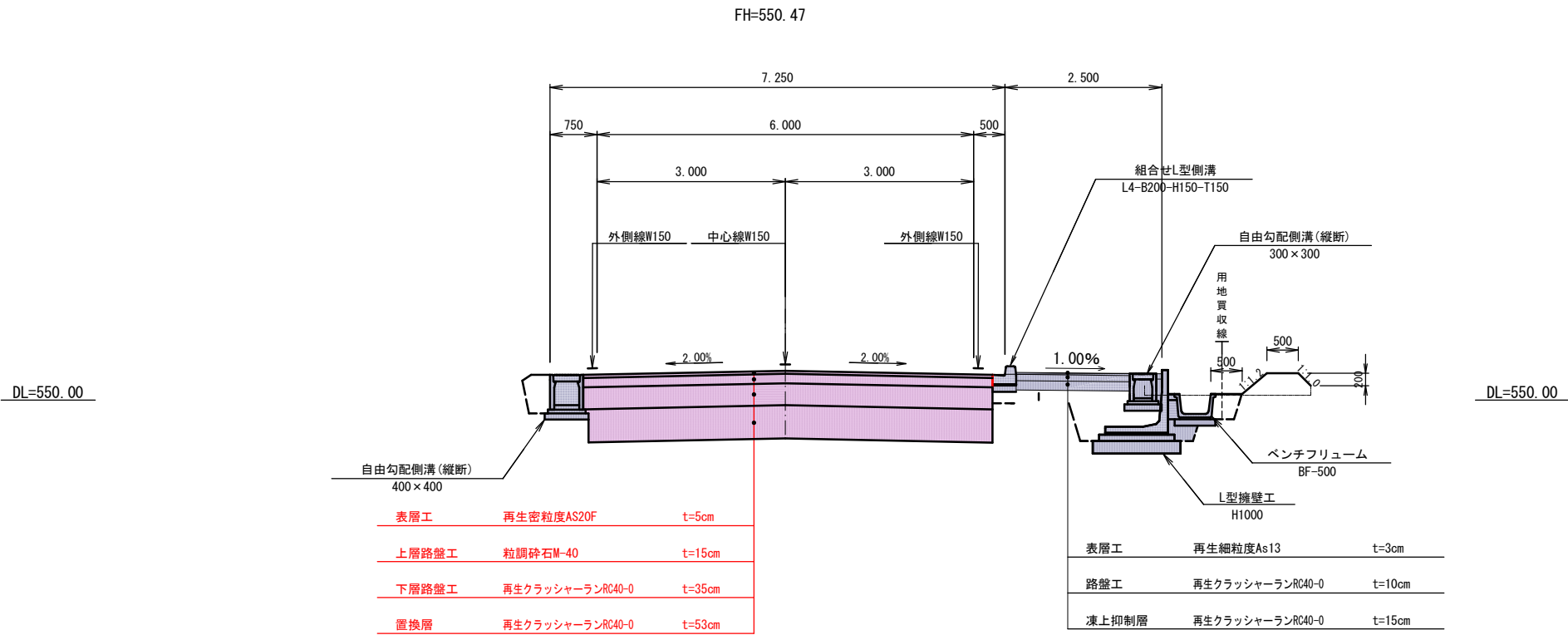
令和5年度（繰越） 社会資本整備総合交付金事業	
市道穂高1級6号線道路改良工事	
番 号	2 / 7
縦断面図	概 尺 図 示
市道穂高1級6号線	
安曇野市 穂高	
設計会社	大成測量設計㈱
測量会社	大成測量設計㈱
調査会社	
安 曇 野 市 役 所	

標準横断面図

SCALE S=1:50 (A1) 1:100 (A3)

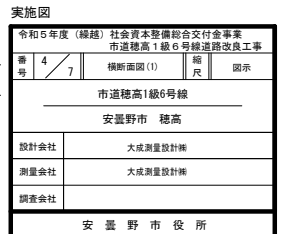


設 計 諸 元 表			市道穂高1級6号線			
構 造 規 格	3 種 3 級 平 地		交 通 量		観測H24年 2791台/24h	
幅 員 構 成	(7.25) (0.75, 3.00×2+0.50)+2.50+3.75				計画H37年 2741台/24h	
設 計 速 度	40 km/h		工 種		道路改築	
最 小 半 徑	500 (60) m				現 況	縦断勾配 1.53～3.03 %
横 断 勾 配	2.0 %					幅 員 6.0～6.5 m
縦 断 勾 配	1.53～3.03 %					路 面 アスファルト
舗装厚決定根拠 舗装設計施工指針(平成18年版)「信頼性90%」						
(1) 平成32年を想定した場合大型車1日1方向交通量 97台/24h						
(2) 舗装計画交通量 N4 100以上250未満 (当該区間の従来計画により、将来的には大型車の交通量増加が想定されるため)						
(3) 各地点のCBR	No. 1 0.7%	No. 2 12.4(凍結)	No. 3 1.6%	No. 4 0.8%	No. 5 1.0%	
(4) 設計CBR	3% (0.6%)		(5) 凍結深		47cm	
(6) 将来舗装計画	施工年度					
(7) 舗装厚	切 土 部		盛 土 部			
設計CBR値より	TA目標値	19.0 cm	設計CBR値より	TA目標値	cm	
凍結深より	47 × 0.7 =	33.0 cm	凍結深より		cm	
表 層 工	5 × 1.00 =	5.0 cm	表 層 工		cm	
上層路盤工	15 × 0.35 =	5.25 cm	上層路盤工		cm	
下層路盤工	35 × 0.25 =	8.75 cm	下層路盤工		cm	
計	55 cm	19.0 cm	計		cm	
置 換 層	53 cm		置 換 層		cm	
合 計	108 cm		合 計		cm	



実施図			
令和5年度（線路）		社会資本整備総合交付金事業 市道穂高1級6号線道路改良工事	
番号	3 / 7	横断面図	縮尺 図示
市道穂高1級6号線			
安曇野市 穂高			
設計会社	大成測量設計㈱		
測量会社	大成測量設計㈱		
調査会社			
安曇野市役所			

SCALE S=1:100 (A1) 1:200 (A3)

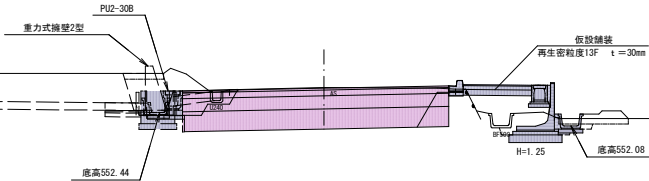


横断面図(2)

SCALE S=1:100(A1) 1:200(A3)

掘削	C2	2.4
埋戻し	B2	1.0
仮舗装(L側)	W	1.5

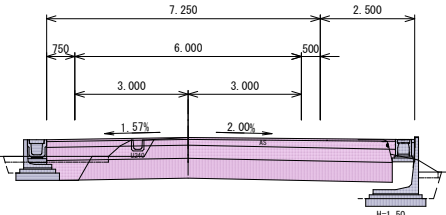
NO. 29
GH-553.10
FH-553.08



耕土剥取	C1	0.3
掘削	C2	7.1
盛土	B1	1.6
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.2
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.4
不陸整正(歩道)	L2-L	0.0
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	6.2
	W2	7.0
	W3	6.5

掘削	C2	1.7
埋戻し	B2	1.9
仮舗装(L側)	W	2.9

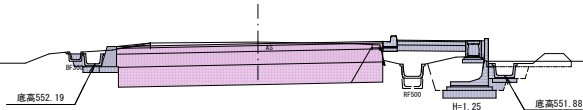
NO.31+14.95~NO.32
GH-554.16
FH-554.16



耕土剥取	C1	0.4
掘削	C2	9.8
盛土	B1	0.6
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.0
耕土埋戻し	B4	0.2
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.0
不陸整正(車道)	L2-L	0.0
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	8.8
	W2	9.2
	W3	8.8

仮舗装	W	0.9
-----	---	-----

NO. 28
GH-552.77
FH-552.72



耕土剥取	C1	0.3
掘削	C2	6.8
盛土	B1	0.8
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.1
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.6
不陸整正(車道)	L2-L	0.0
表層(車道)	L2-R	0.1
路盤(車道)	W1	6.1
	W2	7.0
	W3	6.5

耕土剥取	C1	0.3
埋戻し	B2	0.3
盛土(駐畔工)	B3	0.3
盛土法面整形	L1	0.3

掘削	C2	2.0	1.3
埋戻し	B2	1.3	1.3
仮舗装(L側)	W	2.7	

NO.31~NO.31+14.95
GH-553.83
FH-553.80

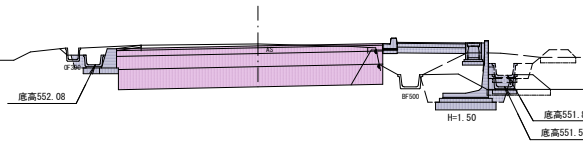
耕土剥取	C1	0.2
埋戻し	B2	0.2
盛土(駐畔工)	B3	0.2
盛土法面整形	L1	0.3

掘削	C2	2.085
埋戻し	B2	1.180
仮舗装(L側)	W	2.0

耕土剥取	C1	0.4
掘削	C2	7.0
盛土	B1	0.1
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.0
耕土埋戻し	B4	0.1
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.0
不陸整正(車道)	L2-L	0.0
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	6.2
	W2	7.0
	W3	6.5

仮舗装(L側)	W	0.7
---------	---	-----

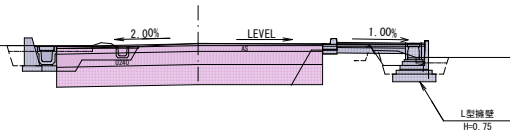
NO.27+12.00
GH-552.83
FH-552.58



耕土剥取	C1	0.3
掘削	C2	6.8
盛土	B1	1.6
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.3
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.6
不陸整正(車道)	L2-L	0.3
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	6.1
	W2	7.0
	W3	6.5

掘削	C2	1.8
埋戻し	B2	1.0
仮舗装(L側)	W	2.0

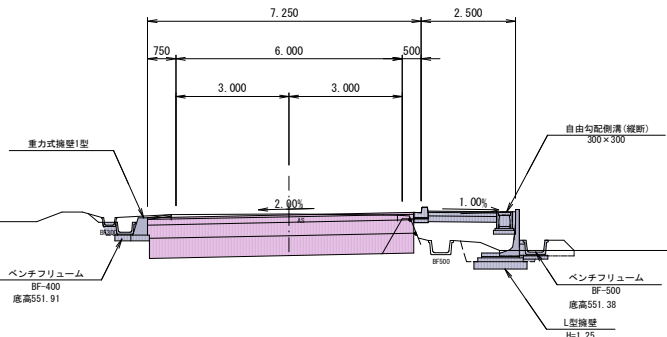
EC.3
GH-553.55
FH-553.54



耕土剥取	C1	0.5
掘削	C2	7.0
盛土	B1	0.1
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.0
耕土埋戻し	B4	0.1
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.0
不陸整正(車道)	L2-L	0.0
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	6.2
	W2	7.0
	W3	6.5

仮舗装(L側)	W	0.6
---------	---	-----

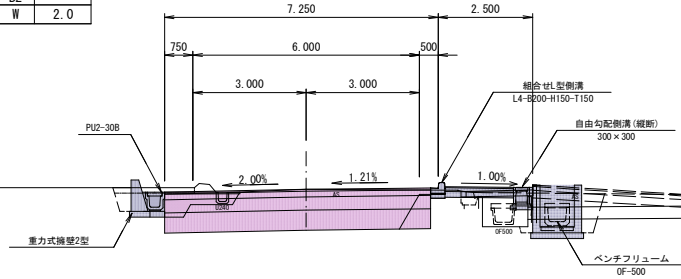
NO. 27
GH-552.39
FH-552.37



耕土剥取	C1	0.3
掘削	C2	6.8
盛土	B1	1.5
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.2
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.4
不陸整正(車道)	L2-L	0.4
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	6.1
	W2	7.0
	W3	6.5

掘削	C2	2.0
埋戻し	B2	1.0
仮舗装(L側)	W	2.0

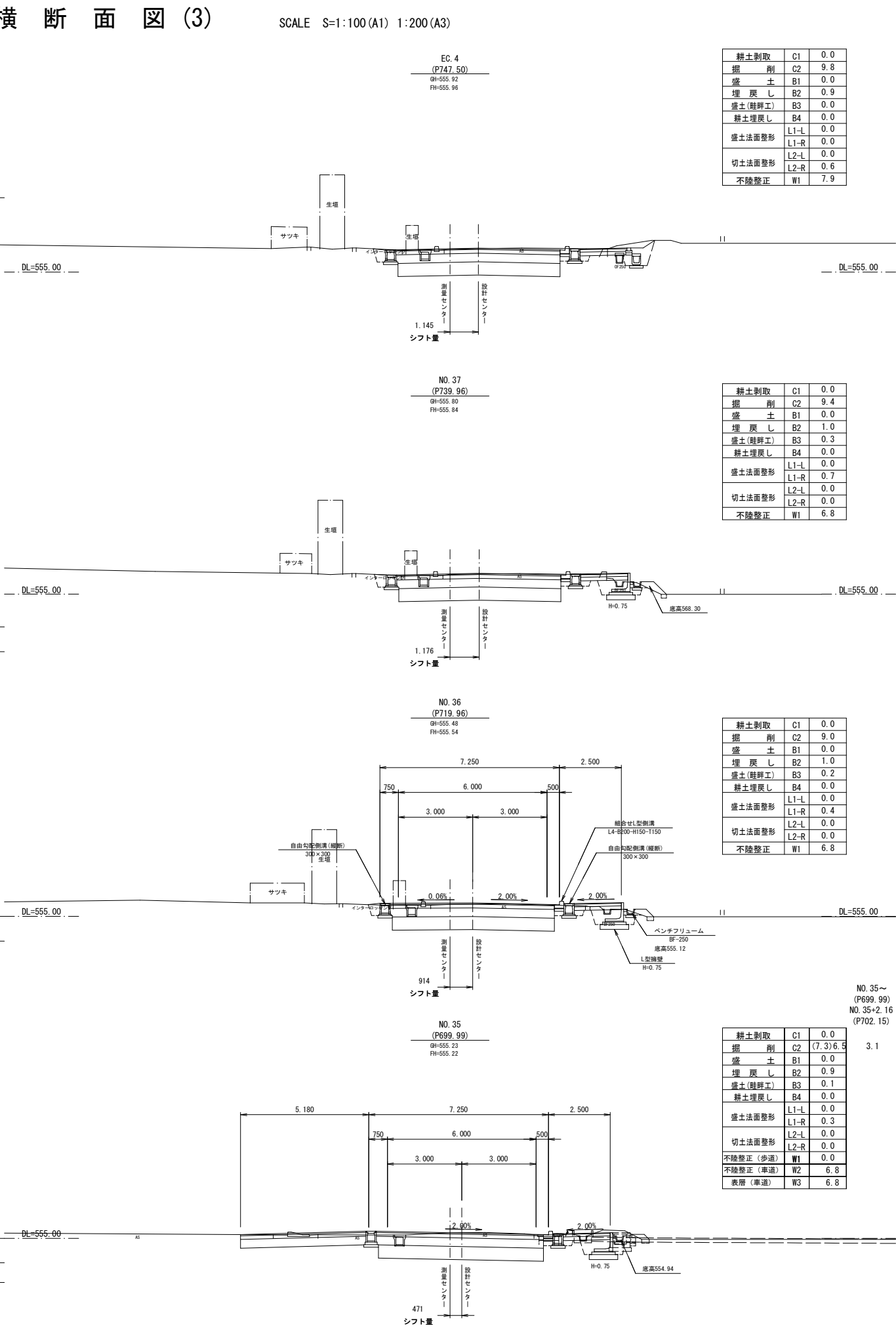
NO. 30
GH-553.44
FH-553.44



耕土剥取	C1	0.3
掘削	C2	7.0
盛土	B1	1.0
埋戻し	B2	0.0
盛土(駐畔工)	B3	0.0
耕土埋戻し	B4	0.1
盛土法面整形	L1-L	0.0
切土法面整形	L1-R	0.0
不陸整正(車道)	L2-L	0.0
表層(車道)	L2-R	0.0
路盤(車道)	W1	6.2
	W2	7.0
	W3	6.5

実施図				
令和5年度(繰越)社会資本整備総合交付金事業 市道種高1級6号線道路改良工事				
番	5	7	横断断面(2)	図示
市道種高1級6号線				
安曇野市 穂高				
設計会社	大成測量設計株式会社			
測量会社	大成測量設計株式会社			
調査会社	大成測量設計株式会社			
安曇野市役所				

SCALE S=1:100 (A1) 1:200 (A3)



耕土剥取	C1	0.0
掘 削	C2	9.8
盛 土	B1	0.0
埋 戻し	B2	0.9
盛土(駐坪工)	B3	0.0
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
	L1-R	0.0
切土法面整形	L2-L	0.0
	L2-R	0.6
不陸整正	W1	7.9

耕土剥取	C1	0.0
掘 削	C2	9.4
盛 土	B1	0.0
埋 戻し	B2	1.0
盛土(駐坪工)	B3	0.3
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
	L1-R	0.7
切土法面整形	L2-L	0.0
	L2-R	0.0
不陸整正	W1	6.8

耕土剥取	C1	0.0
掘 削	C2	9.0
盛 土	B1	0.0
埋 戻し	B2	1.0
盛土 (駐坪工)	B3	0.2
耕土埋戻し	B4	0.0
盛土法面整形	L1-L	0.0
	L1-R	0.4
切土法面整形	L2-L	0.0
	L2-R	0.0
不陸整正	W1	6.8

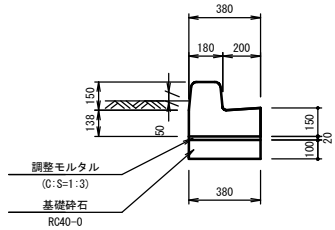
耕土剥取	C1	0.0
掘削	C2	(7.3)6.5
盛土	B1	0.0
埋戻し	B2	0.9
雲土(削野工)	B3	0.1
耕土埋戻し	B4	0.0
雲土法面整形	L1-L	0.0
	L1-R	0.3
	L2-L	0.0
切土法面整形	L2-R	0.0
不陸整正(歩道)	W1	0.0
不陸整正(車道)	W2	6.8
表層(車道)	W3	6.8

実施図				
令和5年度（繰越）社会資本整備総合交付金事業 市道補修1級6号道路改良工事				
番 号	6 / 7	横断箇所(3)	縮 尺	図 示
市道補修1級6号線				
安曇野市 穂高				
設計会社	大成測量設計㈱			
測量会社	大成測量設計㈱			
調査会社				
安 曇 野 市 役 所				
BC.4 (P699.99) ~ EC.4 (P747.50)				

小型構造物詳細図2

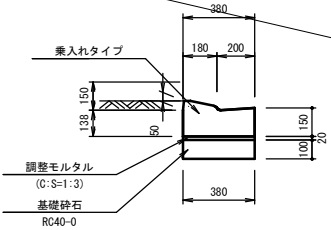
組合せL型側溝 S=1:20 (A1) 1:40 (A3)

B200-H150-T150
標準



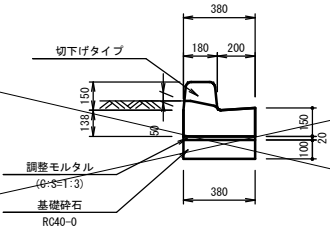
材料表 (10m当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
PLガッター	B200-H150-T150	本	5	
調整モルタル	(C:S=1:3)	m ³	0.08	
基礎砕石	RC-40	m ²	3.8	t=10cm
		m ³	0.4	

B200-H150-T150
乗入れタイプ



材料表 (10m当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
PLガッター乗入れタイプ	B200-H150-T150	本	16	
調整モルタル	(C:S=1:3)	m ³	0.08	
基礎砕石	RC-40	m ²	3.8	t=10cm
		m ³	0.4	

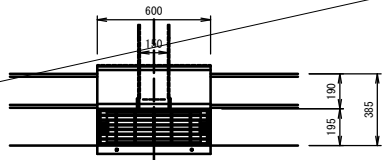
B200-H150-T150
切下げタイプ



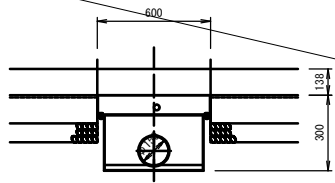
材料表 (10m当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
PLガッター切下げタイプ	B200-H150-T150	本	16	
調整モルタル	(C:S=1:3)	m ³	0.08	
基礎砕石	RC-40	m ²	3.8	t=10cm
		m ³	0.4	

鋼製路面排水樹 S=1:20 (A1) 1:40 (A3)

平面図



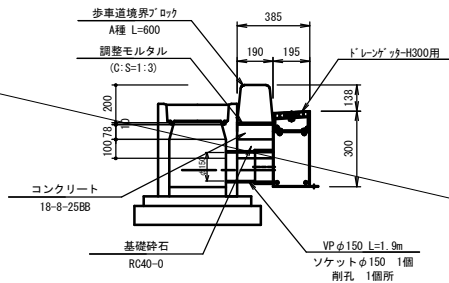
正面図



材料表 (10個所当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
鋼製路面排水樹	ドレーン・H300用	個	10	
歩車道境界ブロック	A種 (両面) L600	個	10	
削孔	φ150	箇所	10	
塩ビ管	VPφ150	m	19	
塩ビ管継手	ソケットφ150	個	10	
調整モルタル(1:3)		m ³	0.01	
コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.09	
基礎砕石	RC-40	m ²	1.1	t=10cm
		m ³	0.1	

10mに1個所設置

側面図



乗入部詳細図

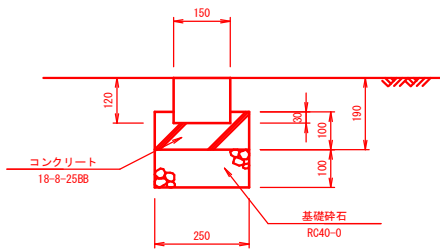


※ 設置箇所は、監督員と協議の上平面図に示す指定ピッチの範囲内にて適所に設置すること。

地先境界ブロック

B種

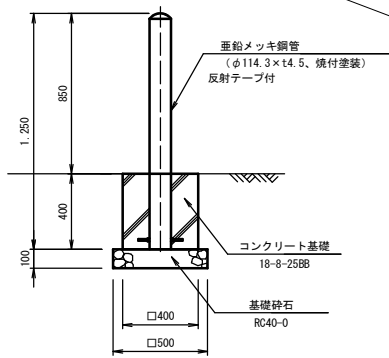
S=1:10 (A1) 1:20 (A3)



材料表 (10m当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
地先境界ブロック	B種	本	16.5	
コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.21	
基礎砕石	RC-40	m ²	2.5	t=10cm
型枠		m ²	2.0	

ガードポール設置 (参考)

S=1:20 (A1) 1:40 (A3)

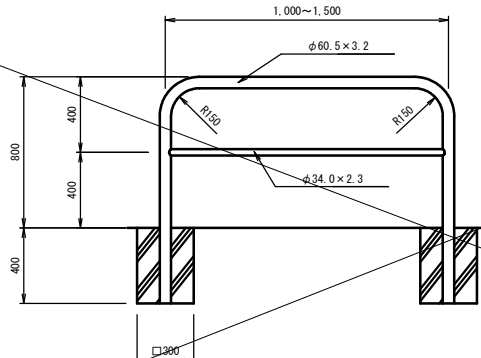


材料表 (1箇所当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
車止め	ポールタイプ	本	1.0	H=0.85m
コンクリート基礎	18-8-25BB	m ³	0.06	
基礎砕石	RC-40	m ²	0.2	t=10cm
型枠		m ²	0.6	

車止め (参考)

S=1:20 (A1) 1:40 (A3)

L=1,000~1,500

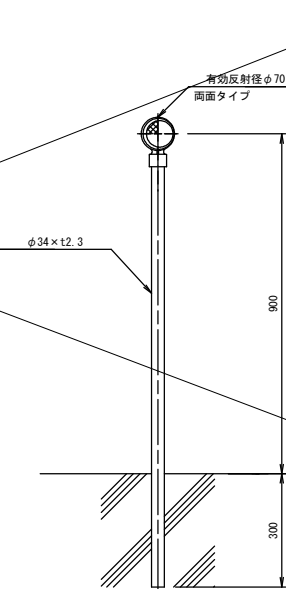


材料表 (1箇所当たり)				
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
立入防止柵		式	1.0	L=1.0~1.5m, H=0.8m
コンクリート基礎	18-8-25BB	m ³	0.07	
型枠		m ²	1.0	

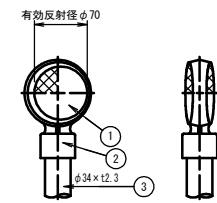
デリネーター (参考図)

S=1:10 (A1) 1:20 (A3)

コンクリート建込・両面タイプ



反射部詳細図 S=1:5 (A1) 1:10 (A3)



品番	品名	数量	材質	備考
1	反射体	2	ポリカーボネート樹脂	φ70
2	反射体取付枠	1	アルミニウム合金	
3	支柱	1	SK400, 亜鉛めっき	静電防汚塗装, 白色

実施図

令和5年度 (繰越) 社会資本整備総合交付金事業 市道第1級6号線道路改良工事			
番 号	7 / 7	小橋造物詳細図2	縮 尺 図 示
市道第1級6号線			
安曇野市 穂高			
部長	課長	調査	設計
安曇野市役所			
設計会社	大成測量設計㈱	管理技術者	下里 守
		調査技術者	望月 喜雄
測量会社	大成測量設計㈱	主任技術者	
調査会社		主任技術者	